

「シリーズ現代の天文学」第1巻『人類の住む宇宙』正誤表

p.51 図 2.2 の中	(誤) WMAP の観測 30 万年 (正) WMAP の観測 37 万年
p.100 上 18 行目	(誤) (改行) おのおのの正方形が... (正) (改行せず) 図 3.4 においておのおのの正方形が...
p.101 図 3.4 の キャプション下 2 行目	(誤) 1 ナノ (10^{-9} 秒) (正) 1 ナノ (10^{-9}) 秒
p.101 下 3 行目	(誤) これは, この「天然に存在する核種」は, ... (正) 図 3.5 は, ...
p.104 下 7 行目	(誤) (改行) (正) (改行せず)
p.107 図 3.7 のキャ プション下 2 行目	(誤) この図 3.8 に... (正) この図は図 3.8 に...
p.110 図 3.9 の中	(誤) 38 万年 (正) 37 万年
p.110 図 3.9 の中	(誤) \gtrsim 4 億年 (正) \gtrsim 2 億年
p.110 上 2 行目	(誤)... 生成されるたのかについてみてみよう. (正)... 生成されたのかについてみてみよう.
p.114 図 3.12 の キャプション上 5 行目	(誤) Y_P (正) Y_p
p.115 上 16 行目, 下 1 行目	(誤) 38 万年 (正) 37 万年
p.116 上 2 行目	(誤) 約 4 億年後 (正) 約 2 億年後
p.116 上 3 行目	(誤)... 元素を天文学では「重元素」と呼ぶ. (正)... 元素を元素合成の分野では「重元素」と呼ぶ.

p.119 下 4 行目	<p>(誤)... ^{16}O になる．このようにヘリウム燃焼では，燃えかすとして中心に C と O から成るコアが形成される．この核反応は，その後の星の進化を決める原子核反応としてきわめて重要である．次節でみるように，重い星は進化の最後に超新星爆発とよばれる大爆発を起こすが，この爆発の後に中性子星と呼ばれる天体が残るかブラックホールと呼ばれる天体が残るかは，この核反応率にきわめて強く依存している．しかしながら，この核反応は実験的に十分な精度ではまだわかっていない．</p> <p>(正)... ^{16}O になる．この核反応は，その後の星の進化を決める原子核反応としてきわめて重要である．次節でみるように，重い星は進化の最後に超新星爆発とよばれる大爆発を起こすが，この爆発の後に中性子星と呼ばれる天体が残るかブラックホールと呼ばれる天体が残るかは，この核反応率にきわめて強く依存している．しかしながら，この核反応は実験的に十分な精度ではまだわかっていない．このようにヘリウム燃焼では，燃えかすとして中心に C と O から成るコアが形成される．</p>
p.121 上 1 行目	<p>(誤) Ne と Mg のコア</p> <p>(正) 酸素とネオンとマグネシウムのコア</p>
p.128 上 3 行目	<p>(誤) 星の進化や超新星，爆発的な元素の生成について，より私たちの物質の世界は，まさに超新星爆発によってかたち創られてきたのである．</p> <p>(正) 私たちの物質の世界は，まさに超新星爆発によってかたち創られてきたのである．星の進化や超新星，爆発的な元素の生成について，よりくわしくはシリーズ第 7 巻を参照されたい．</p>
p.128 下 7 行目	<p>(誤)... 宇宙を飛び交っている高エネルギー粒子...</p> <p>(正)... 宇宙を飛び交っている非常に高エネルギーの粒子...</p>
p.129 上 2 行目	<p>(誤)... おおむね説明えきる...</p> <p>(正)... おおむね説明できる...</p>
p.135 上 2 行目	<p>(誤) 「I ビームファクトリー」</p> <p>(正) 「RI ビームファクトリー」</p>
p.135 上 14 行目	<p>(誤) 4 億年後</p> <p>(正) 2 億年後</p>
p.136 下 2 行目	<p>(誤)... 爆発の平均間隔は数年として数百年までの値が示唆されており，2 桁もの不定性がある．</p> <p>(正)... 爆発の平均間隔として数年から数百年までの値が示唆されており，2 桁もの不定性がある．</p>